

1 今回の点検内容

今回の点検では河川の状況を確認。これまで継続して行ってきた土砂の堆積や立木の状況などの確認に加え、内水被害の対策を強化。道路の側溝や用排水路なども重点的に点検します。市長は、下佐野町や倉賀野町を流れる粕沢川を視察し、担当職員や地元の区長などから状況や大雨のときの様子などについて説明を受けました。点検の結果、危険性が高いと認められる箇所は、早急な対応を行っています。



冠水した住宅地の道路。今回は側溝や用排水路の点検も強化



土砂や草が堆積する粕沢川。管理する県と対応を協議



土砂の堆積状況などを調査する職員(粕沢川)



昨年10月の台風19号による大雨で増水した鍋川



浸水対策のための雨水管の整備(下中居町)

2 これまでの成果

堆積した土砂を撤去した榛名白川
(箕郷町上芝)



市はこれまで、水害や土砂災害、地震被害の防止をテーマに、危険箇所の点検を行ってきました。昨年は、河川や水路、土砂災害の危険箇所など市内約5,700箇所を点検。河川や水路に堆積した土砂や立木などの障害物を撤去するなど、さまざまな対策を行いました。烏川や榛名白川、雁行川など、国や県が管理する河川についても管理者に改善を要望。その結果、障害物の撤去などの対策につながりました。

地元の区長さんに聞きました

箕郷町第15区長 櫻井 卓雄さん



昭和41年に榛名白川が氾濫したときは大きな被害がありました。濁流や岩と岩がぶつかる音をよく覚えています。最近は川の中に土砂がたまったり草や木が茂ったりして、大雨で溢れないか不安でしたが、撤去されて安心しました。素早く対応してもらえて、本当にありがたいです。

水害や土砂災害に備え、市職員1,600人を動員

危険箇所総点検

市は、平成26年から実施している危険箇所総点検を今年も開始しました。これまでの台風や集中豪雨による被害などを踏まえ、市内をくまなく点検します。今回号では、この点検の概要についてお知らせします。問い合わせは、防災安全課 (☎ 321-1352) へ。



今年の危険箇所総点検は、「河川や排水路、農業用水路などの氾濫による浸水被害の防止」がテーマです。近年は台風や集中豪雨が増加し、雨水が住宅地などから排水されず、道路冠水や浸水などの内水被害が発生しています。こうした状況を受けて、今回はこれまで行ってきた河川内の土砂の堆積や立木の状況、護岸の損傷などの点検に加え、昨年10月の台風19号で浸水被害が多かった地区を中心に、地元区長への聞き取り調査を実施。道路の側溝や用排水路などを重点的に点検します。

危険箇所の再点検も含め 市内4300箇所を調査

点検は、5月21日から2か月をかけて、職員延べ約1,600人を動員して実施します。市内の151河川をはじめ、用排水路や道路の側溝、土砂災害の危険箇所など、再点検も含め約4,300箇所の点検を実施します。

点検の結果、対策が必要な箇所については、県などの管理者と協議しながら、改修工事や障害物の撤去などを順次行っていきます。